

質問回答書

工事名 : 滋賀医科大学(瀬田月輪)動物実験施設(Ⅳ期)改修機械設備工事

課長	課長補佐	係長	主任	係員
				

質問回答書

工事名：滋賀医科大学（瀬田月輪）動物実験施設（Ⅳ期）改修機械設備工事

標記業務について下記のとおり回答いたします。

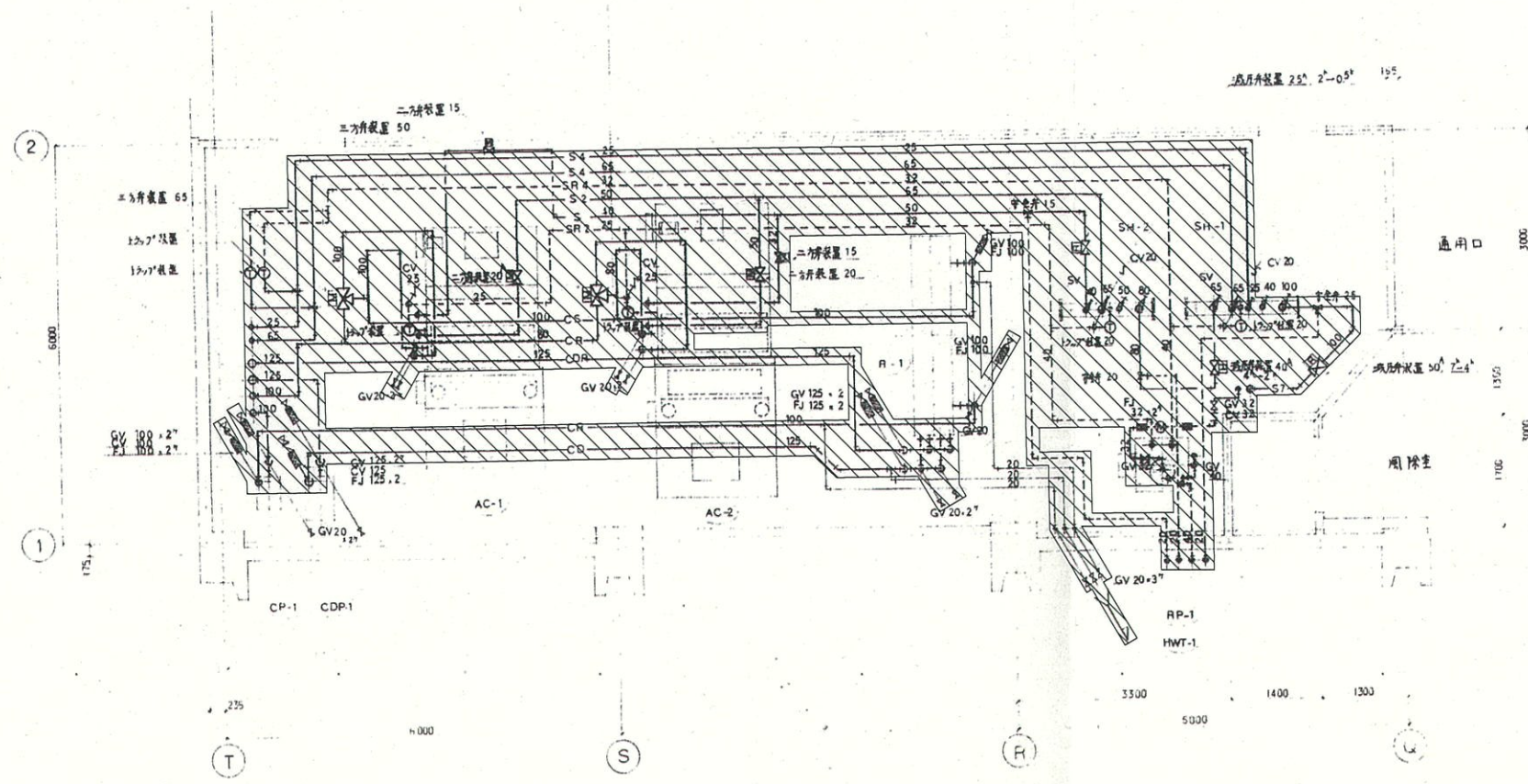
No	図面番号	質問	回答
1	M-58	図面M58 図面がうすく見えない。	別図1を参照ください。
2	-	現状、ホルムズ海峡の影響で資機材のコストアップ並びに納期が不透明ですが、留意して頂けるのでしょうか。	工期及び賃金又は物価の変動に基づく請負代金の変更については、文部科学省の定めた工事請負契約基準に基づき、発注者と受注者で協議することとします。
3	入札説明書	中東情勢の影響で塩ビライニング鋼板ダクトなどが出荷停止状態となっています。工期は令和9年7月30日までの延長する予定とありますが、中東情勢の改善が見られない場合の対応について、ご指示ください。	工期及び賃金又は物価の変動に基づく請負代金の変更については、文部科学省の定めた工事請負契約基準に基づき、発注者と受注者で協議することとします。
3	入札説明書	同上の影響で価格の変動が見込まれていますが、価格上昇が大きい場合申し立ての上、協議ができるものと考えてよろしいですか。	工期及び賃金又は物価の変動に基づく請負代金の変更については、文部科学省の定めた工事請負契約基準に基づき、発注者と受注者で協議することとします。
3	M-15・M-17	屋外のダクトの材質はガルバリウム鋼板製とありますが、付属ダンパーはエポキシ塗装ダンパーと考えてよろしいですか。	よろしい。
4	M-16	3階T～S通り間にOAチャンバーの記載がありますが、設備工事と考えてよろしいですか。その場合、内貼り保温材はGW25tでよろしいですか。	設備工事とし、内貼りGW50tとします。

5	M-10	機械室の空調配管の保温は標準仕様書3.1.4通りとし、65A以上のバルブ類は、カラー鉄板と考えてよろしいですか。	標準仕様書3.1.4通りとし、機械室、書庫、倉庫 に準じる。
6	M-47	空気配管がSUS304となっていますが、接合方法と管材の厚みをご指示ください。	SUS 304TP-S BA管の仕様に準じる。 継手仕様は、溶接継手、くい込み式継手又はねじ込み式継手とし使用配管に準じたものとする。
7	M-18	設計図M-18 PS内OAチャンバー外気取入れ口のガラリですが、既存ガラリに設置もしくは建築工事と考えてよろしいでしょうか。	別途建築工事ガラリに接続としてください。
8		工事期間中サル飼育室の動物は、工事範囲外に移動させて頂けるものとしてよろしいでしょうか。	工事期間中は空室となります。
9	M-43	設計図M-43 枠組足場ですが、本工事と考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
10	M-16	設計図M-16 枠組足場ですが、本工事と考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
11	M-61	設計図M-61 既設撤去の図面ですが文字がつぶれていて数量確認ができません。撤去関連の数量表があれば頂きたいです。	別図2を参照ください。

12	数量書P-11 M-06図	空冷ヒートポンプモジュールチラー R4-3～R4-4 が冷却能力:150KW となっています。 M-06図機器表では冷却能力:300KWです。機器表を正と考えて良い ですか。又、台数は4-1、4-2、4-3、4-4 各1台の合計4台ですか。	空冷ヒートポンプモジュールチラーR-4-1・4-2・4-3・4-4の冷却能力は それぞれ150KWとし、設置台数は4台とする。
13	数量書P-11 M-06図	軟化装置(ボイラー付属品)の項目が数量書にありませんが、ボイラー 付属品ということなので、数量表に記載がないと考えて良いですか。	よろしい。
14	特-3	大型機器と建築工事基礎の間の鉄骨架台の記載がありません。特記 仕様書には機械工事となっています。想定される架台はあるのであれ ば、大きさや数量についてご指示下さい	R4-1～4の鉄骨架台は別途建築工事とする。
15	M-08図 数量書P-14	M-08図に定風量装置の機器表と数量書と比較した際に、CAV-S205 ACU-12系統×1個が数量書に無い様に見受けられました。追記と考 えて良いですか。	CAV-S205を追加する。
16	M-16図、M -19図	チャンバーの寸法記載箇所(GW50t)の表記があるものは内貼りを 施工するものと考えます。表記の無いものはASは外巻き断熱、RAは 断熱しないと考えます。	RAチャンバーはGW50tの断熱を行うものとする。
17	M-15図、M -19図	凡例としてダクト使用材料を記載されています。SA、RAダクト材はガル バニューム鋼板と記載があります。RF屋上のACU-10に接続のダクト は保温断熱が必要だと思えます。この場合にもダクト材はガルバニュー ム鋼板を使用するのか、又はSA、RA共に保温断熱は不要なのか、 SAのみは保温断熱が必要なのか ご教授下さい。	屋外露出のSA・RAダクト材質はガルバニューム鋼板とし保温施工の うえ外装仕上げとする。

18	M-17図、M-18図	図中の㊶-①、③-④のダクト施工用足場の記載がありません。別途施工業者(建築工事)の足場を使用して施工を考慮しておられますか。足場はダクト施工の過程で掛け払いが生じます。その費用は本工事の範囲で賄うものと考えますか。	ダクト施工に伴う足場は本工事とする
19	M-16図	蒸気ボイラー用の排気トップ取付部に既設壁の貫通の記載がありません。既設壁部の既存貫通穴を使うと考えて良いですか。	別途建築工事による貫通口を使用してください。
20	M-15図からM-19図、特-3図	角ダクトの床、壁のコンクリート部分貫通は別途工事と考えて良いですか。特記には補強の必要なコンクリート開口、閉鎖工事は建築工事になっていました。	よろしい。
21	数量書P-14	数量表の項目には機器の保温工事の項目がありません。機器の一部と考えて積算すると考えて差し支えありませんか。	機器の一部として積算計上とする。
22	M-46図	「管更生工事は反転形成工法(自立管)とし、……」と記載がありますが、施工メーカー等をご教授下さい。	「管清工業株式会」、「積水化学工業株式会社」を想定しておりますが、参考メーカーであり施工者を指定するものではありません。
23	M-22図 M-23図	R4-1,R4-2,R4-3,R4-4で、EM-CET100°E22°(F2-63)とありますが、可とう管のサイズが小さいように思います。F2-76で計上して宜しいでしょうか。また、EM-CE3.5-4C、EM-CE5.5-4Cの電線管がG22とありますが、こちらもサイズが小さいように思います。G28で計上して宜しいでしょうか。	可とう管はF2-76とし、EM-CE3.5-4C、EM-CE5.5-4Cの電線管はG28とする。
24	M-27図 M-29図 M-32図	冷温水熱源廻り制御のうち、ヘッダー～ヘッダー間の部分に配管切替制御の電動弁が12個あり、M-29にACU-10に詳細が記載されていますが、ACU-11、ACU-12については記載がありません。また、平面図にも電防弁の記載がありません。平面図を正として計上して宜しいでしょうか。	よろしい。

25	M-58図	撤去の図面ですが、図面部分が不明瞭でほとんど識別できません。図面の差替か数量表を提示していただけないでしょうか。	別図1を参照ください。

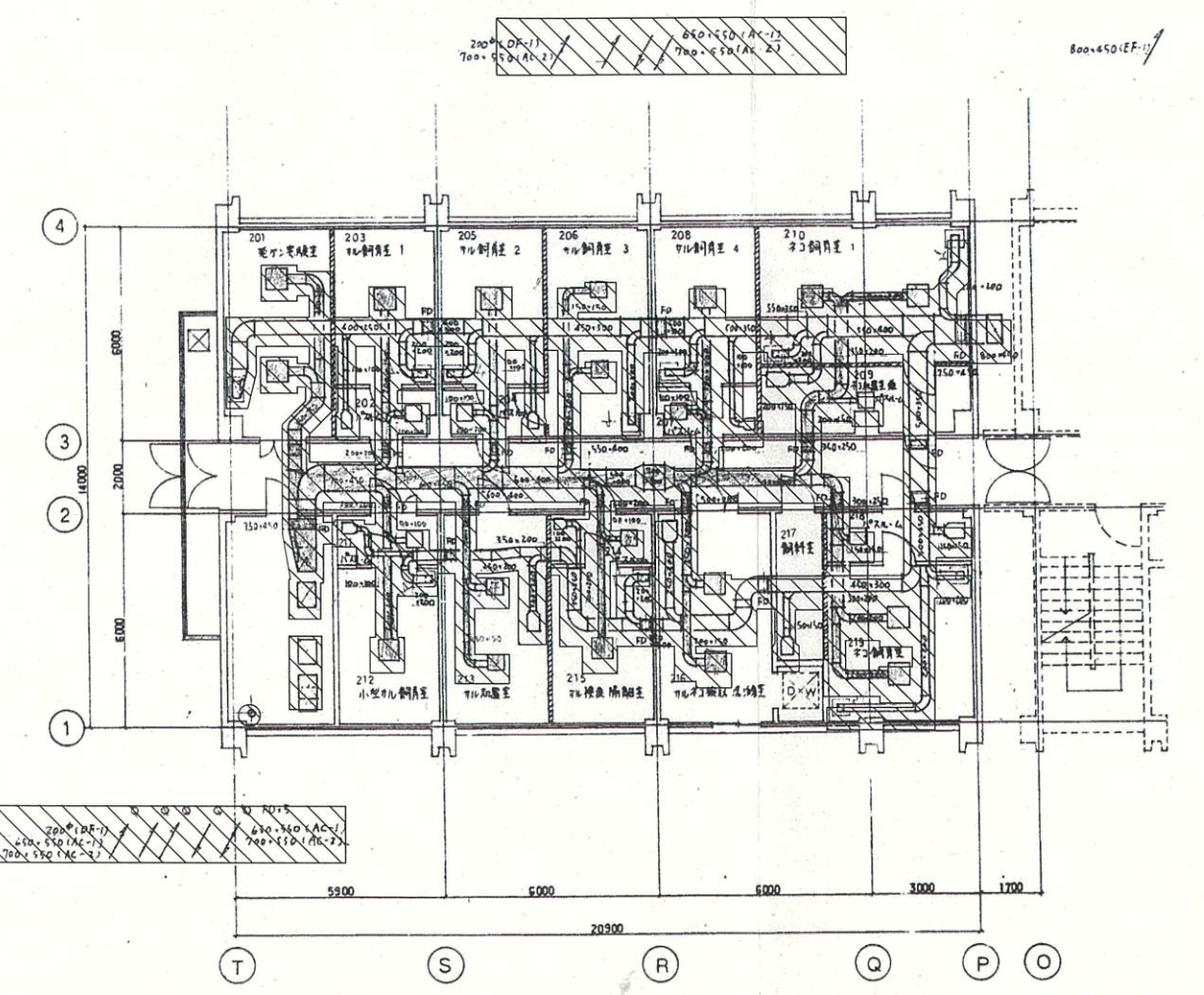
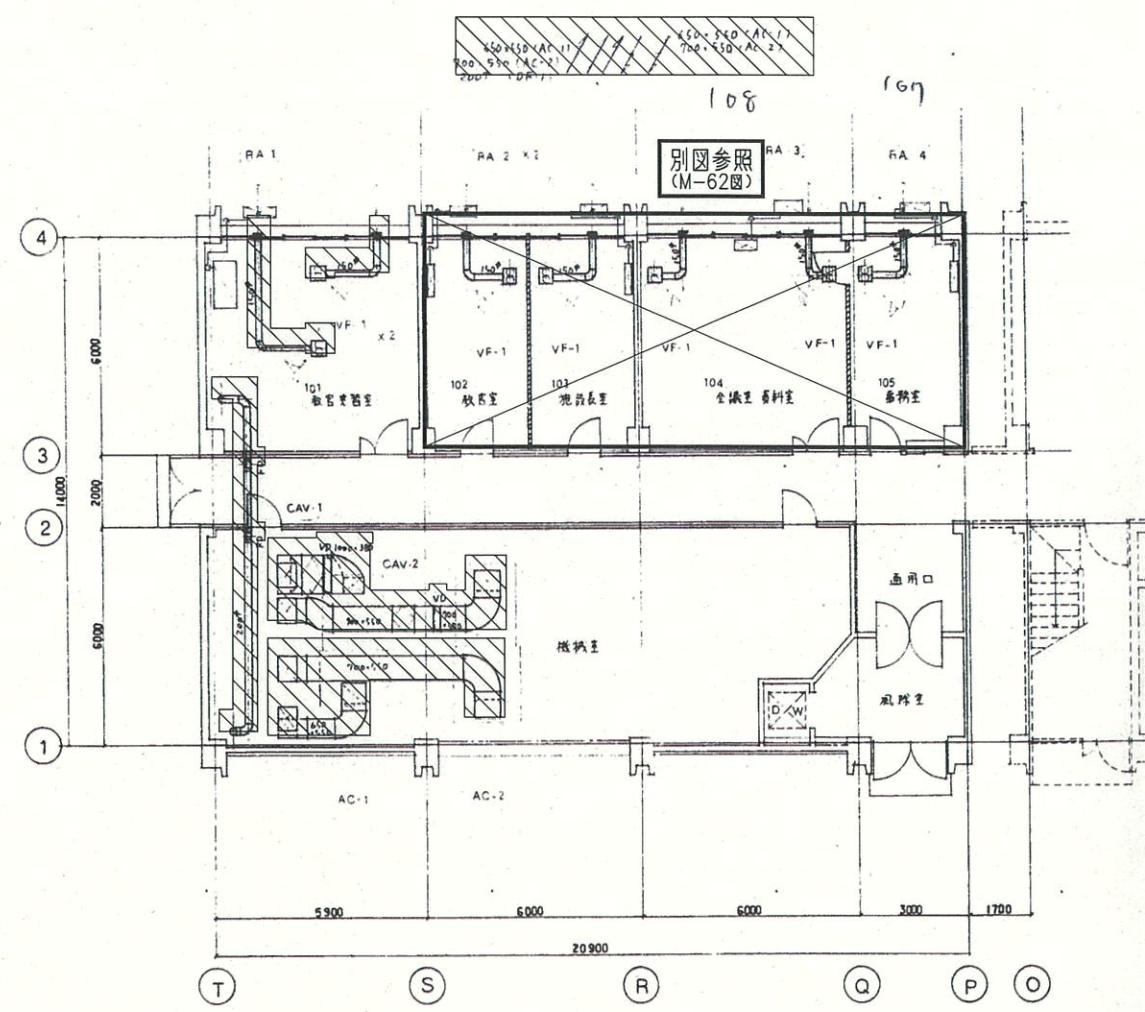
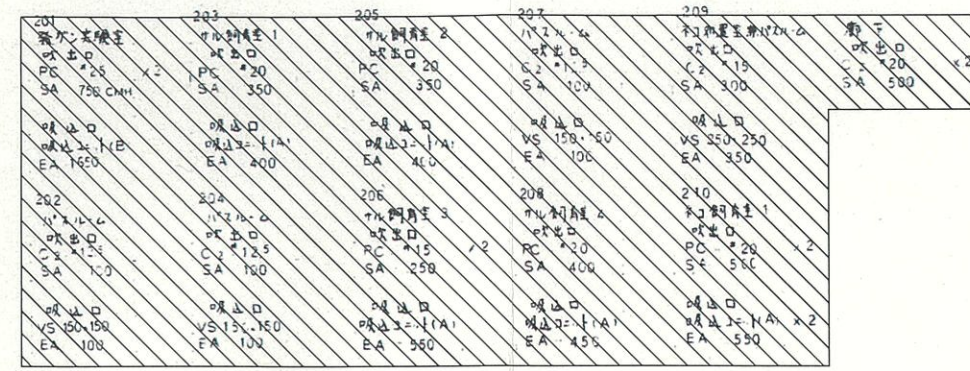


機械室詳細図 1:50

注記

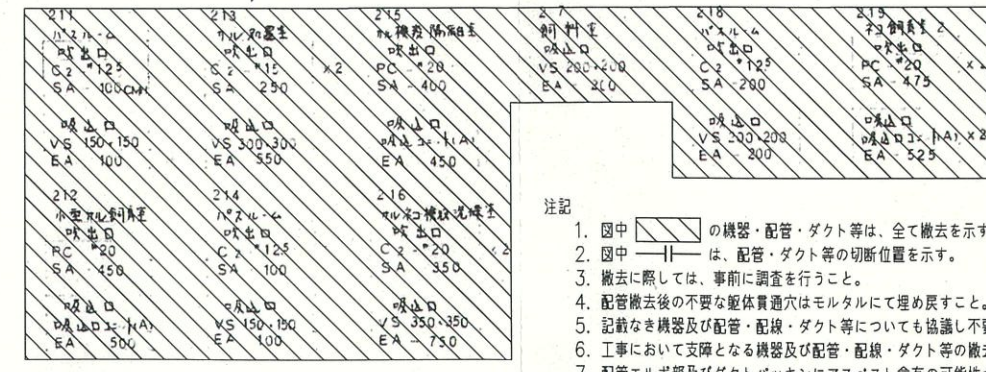
1. 図中 // の機器・配管・ダクト等は、全て撤去を示す。
2. 図中 = は、配管・ダクト等の切断位置を示す。
3. 撤去に際しては、事前に調査を行うこと。
4. 配管撤去後の不要な躯体貫通穴はモルタルにて埋め戻すこと。
5. 記載なき機器及び配管・配線・ダクト等についても協議し不要な場合は撤去すること。
6. 工事において支障となる機器及び配管・配線・ダクト等の撤去復旧は本工事とする。
7. 配管エルボ部及びダクトパッキンにアスベスト含有の可能性があるため、アスベスト分析を行うこと。なお、アスベスト処分は別途工事とする。

記 事	設計事務所名	日付	番 号	設計業務名	国立大学法人 滋賀医科大学 施設課				工事名称	縮尺	図面番号
	株式会社 新日本設備計画 1級建築士登録第322178号 今井 宏二	令和 8年 3月 管 理 主 任	管 理 主 任	滋賀医科大学（瀬田月輪）R1動物実験施設改修（Ⅲ・Ⅳ期）設備設計業務	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 任	滋賀医科大学（瀬田月輪）動物実験施設（Ⅳ期）改修機械設備工事	A1: 1/50 A3: 1/100	M-58 図面No. 58 / 80
					佐 吉	飯 島	茶 野	前 田	図面名称 空調・換気設備 1階機械室平面詳細図（配管）（撤去）		



1F平面図 s=1/100

2F平面図 s=1/100



- 注記
1. 図中の斜線部の機器・配管・ダクト等は、全て撤去を示す。
 2. 図中の二重線は、配管・ダクト等の切断位置を示す。
 3. 撤去に際しては、事前に調査を行うこと。
 4. 配管撤去後の不要な躯体貫通穴はモルタルにて埋め戻すこと。
 5. 記載なき機器及び配管・配線・ダクト等についても協議し不要な場合は撤去すること。
 6. 工事において支障となる機器及び配管・配線・ダクト等の撤去復旧は本工事とする。
 7. 配管エルボ部及びダクトパッキンにアスベスト含有の可能性があるため、アスベスト分析を行うこと。なお、アスベスト処分は別途工事とする。

設計事務所名 株式会社 新日本設備計画 1級建築士登録第322178号 今井 宏二	日付 令和 8年 3月 管理 主任 吉田 奥田 藤本	番号 担当	設計業務名 滋賀医科大学(瀬田月輪)RI動物実験施設改修(Ⅲ・Ⅳ期)設備設計業務	国立大学法人 滋賀医科大学 施設課				工事名称 滋賀医科大学(瀬田月輪)動物実験施設(Ⅳ期)改修機械設備工事	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 M-61
				課長 課長補佐 係長 主任	西 前田 斎藤 飯島 佐吉	図面名称 空調・換気設備 1階平面図(1)・2階平面図(ダクト)(撤去)	図面No. 61 / 80			